



(社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	M03012
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

JGA-2631 (塗料部標準)
JGA-E43548 (塗料工種)



鋼構造物塗り替え用 2液型変性エポキシ樹脂さび止め塗料

ハイエポシ #1000

鉄鋼構造物の塗り替え用さび止めプライマーとして、幅広い塗り重ね性と付着性、防錆力に優れています。よって、塗り替え周期の長期化、塗り替え作業のスムーズ化により鉄鋼構造物の保守管理に大きく貢献できるものです。

用途

鉄橋、橋梁、電力施設、プラント類、建築鋼構物、鋼板屋根等。
各種、中塗り、上塗りとの組合せにより屋内外鉄鋼構造物に適応。

特長

1. 旧塗膜、上塗り塗料との幅広い塗り重ね性。
2. 優れた付着力と防錆力。
3. さび止め顔料は無公害。
4. 刷毛、ローラー、エアレスのいずれも可能で厚塗り性に優れる。
5. ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆取得

適合上塗り材

水系ポリマックス、スーパーギルソ、トタンライトデラックス、
パワーシリコン#220、パワーフロン#2200、パワーシリコンライト

塗膜性能

試験項目	評価方法・品質基準	試験結果
付着性	JIS K5600-5-6 (クロスカット法 1mm幅)	分類 0
耐屈曲性	JIS K5600-5-1 (円筒形マンドレル法)	10mm
耐おもり落下性	JIS K5600-5-3 (デュボン式 500g×40cm×1/2φ)	異常なし
耐液体性	JIS K5600-6-1 (水道水 浸せき法)	23℃×3ヶ月間 異常なし
	JIS K5600-6-1 (3%食塩水 浸せき法)	23℃×3ヶ月間 異常なし
	JIS K5600-6-1 (5%水酸化ナトリウム水溶液 浸せき法)	23℃×7日間 異常なし
	JIS K5600-6-1 (5%硫酸水溶液 浸せき法)	23℃×7日間 異常なし
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600-7-1 ソルトスプレー試験機 1000h	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板（鉄板） 乾燥条件：23℃×7日間放置

塗装仕様

※鋼構造物の場合、エアレスにて最大0.45kg/m²まで塗付可能です。
金属屋根の場合は、ハケ・ローラー・エアレスにて0.19~0.25kg/m²塗付ください。

素地調整	電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はSSPC-SP 3 (SIS St 3) まで除錆する。 旧塗膜は全面清掃ケレンを行う。			
混合	主剤：硬化剤 80：20 (重量比) で混合			
希釈	ハイエポン#1000シンナー 0~10%の範囲で希釈			
可使用時間	8時間以内 (23℃) で使い切る。			
塗装部位	金属屋根		鋼構造物	
塗装方法	ハケ、ローラー	エアレス	ハケ、ローラー	エアレス
塗付量	0.19~0.21kg/m ²	0.19~0.25kg/m ²	0.19~0.21kg/m ²	0.35~0.45kg/m ²
塗り重ね時間	16時間以上30日以内 (23℃)			

荷姿

ハイエポン #1000	20kgセット	(主剤 16kg 硬化剤 4kg)
ハイエポン #1000	5kgセット	(主剤 4kg 硬化剤 1kg)
ハイエポン #1000シンナー	16L、 4L	

標準色

グレー (日塗工 H72-60D 程度)、ブラウン (日塗工 H07-30L 程度)、
ホワイト (日塗工 HN-93 程度)

注意事項

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度 (80%以上)・低気温 (5℃以下) の場合は施工を避けてください。
又、高湿度 (80%以上)・低気温 (5℃以下) で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こす恐れがあります。
2. 塗装面のゴミやほこり等は取り除いてください。
3. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりが不良等が起こりますので注意してください。
4. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差ができますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
5. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
6. エアレス塗装の場合、飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
7. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。
8. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。(専用シンナーを使用してください。)
9. ハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナー又はエナメルシンナーを使用してください。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一ロット・同一塗装方法での補修及び適正希釈等に注意してください。
11. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
12. 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
13. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
14. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないでください。
やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。又、シーリング材用の接着剤がはみ出した部分は、変色や剥離の原因となりますのでご注意ください。
15. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
16. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
17. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌



再生紙に大豆油インキを使用しています

カタログ記載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1506050094629